
1.農政の動き

◆「みどりの食料システム戦略」を語る新たな動画公開！

～ビジネス界の有識者がみどり戦略に斬り込む～

農林水産省は、「みどりの食料システム戦略」をビジネス視点から有識者に語っていただく新たな動画を、ビジネス映像メディア「PIVOT」で公開しました。また、同動画の短編動画を省公式 YouTube チャンネル maffchannel でも近日公開する予定です。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/231122_24.html

◆J-クレジット制度において「肉用牛へのバイパスアミノ酸の給餌」が新たな方法論として追加されました！

農林水産省では、みどりの食料システム戦略を推進し、畜産分野を含めた農林水産業の温室効果ガス削減に取り組んでいます。令和5年10月20日に開催された第32回J-クレジット制度運営委員会において、「肉用牛へのバイパスアミノ酸の給餌」の方法論が承認され、所定の手続きを経て、新たにJ-クレジット制度の対象となりました。これにより、J-クレジット制度における農業分野の方法論が6つに拡大します。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/231122.html

◆野菜の入荷量と価格の見通し（12月分）

大阪市中央卸売市場に入荷する主要野菜についての入荷量と卸売価格の見通しを別添のとおり公表したので、お知らせします。

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/kinki/seisan/engeitokusan/yasai/kakaku.html>

◆令和5年産米の契約・販売状況、民間在庫の推移及び米穀販売事業者における販売数量・販売価格の動向について（令和5年10月末現在）

農林水産省は、令和5年産米の「産地別契約・販売状況（令和5年10月末）」、「民間在庫の推移（令和5年10月末）」及び「米穀販売事業者における販売数量・販売価格の動向（令和5年10月末）」について取りまとめました。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/231201.html>

◆「令和5年度 全国優良経営体表彰」の発表について

農林水産省及び全国担い手育成総合支援協議会は、令和5年度全国優良経営体表彰の各賞（経営改善部門、生産技術革新部門、6次産業化部門、販売革新部門、働き方改革部門、担い手づくり部門）の受賞者を決定しました。なお、令和6年2月28日（水曜日）に開催される「第25回全国農業担い手サミット」の全体会において、農林水産大臣賞受賞者の表彰式を行います。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/keiei/keiei/231127.html>

◆年未年始に向けて「おいしい食べきり」全国共同キャンペーンを実施

～宴会やパーティーでは、残さず食べきり食品ロス削減～

農林水産省は、消費者庁、環境省及び全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会と連携し、令和5年12月から令和6年1月まで、外出時の「おいしい食べきり」全国共同キャンペーンを実施します。

残さず食べきることを呼び掛けるための普及啓発資材の提供や、取組に参画する事業者や自治体についての情報発信を行います。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/231130.html>

◆「行くぜっ！ にっぽんの和食」キャンペーンを実施

～「和食」のユネスコ無形文化遺産登録10周年！～

農林水産省は、本年12月4日（月曜日）に和食がユネスコ無形文化遺産に登録されて10周年を迎えることから、新たな発想で「和食文化の魅力」を若者・子育て世帯に発信していく「行くぜっ！ にっぽんの和食」キャンペーンを実施します。

本キャンペーンを通じて、広く和食文化への関心を高め、和食の保護・継承に関する機運を盛り上げていくとともに、我が国が世界に誇る和食文化を次世代に繋げていく活動を促進する「きっかけ」をつくってまいります。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/231204.html>

◆近畿農政局管内の野生鳥獣による農作物被害状況について（令和4年度）

1）令和4年度の野生鳥獣による近畿農政局管内の農作物被害は約12億円（対前年度約1億2千万円減）、被害面積は約950haで、被害量は約5千3百tです。

2）主要な鳥獣種類別の被害金額については、イノシシ約4億1千万円、シカ約3億4千万円、アライグマ約1億5千万円です。

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/shigen/231128.html>

2.お知らせ

<募集・案内>

◆農林水産省近畿農政局は、立命館大学食マネジメント学部、株式会社平和堂及び滋賀県と協働し、環境や資源循環型に配慮して生産された野菜の生産のPR活動を行います。

農林水産省近畿農政局は、環境にやさしい資源循環型の生産方式による農産物の生産を拡大するために、立命館大学食マネジメント学部、株式会社平和堂及び滋賀県と共に、このような方式で生産された野菜について消費者の皆様へ理解を深めていただくための取組について協働して検討してきました。

このような取組の一環として、立命館大学の学生さんに実際の資源循環の取組がどのように行われているのか、店舗における食品残さのリサイクルのための処理の状況、リサイクル施設における食品残さのたい肥化の過程、農場におけるたい肥を用いた野菜の生産を取材していただきました。

当日は、学生さんの取材結果を動画により紹介していただくとともに、滋賀県多賀町の「多賀にんじん」をピックアップし、環境にやさしい農作物のPR活動を行います。

- 開催日時：令和5年12月9日（土曜日）、10日（日曜日）※大学生の参加は、9日のみ
- 開催場所：アル・プラザ長浜、アル・プラザ近江八幡、アル・プラザ八日市、ビバシティ平和堂
- 企画内容：1.多賀にんじんの販売
2.多賀にんじんを使ったメニュー試食（10時30分～15時00分）
3.推定野菜摂取量の無料測定会の開催（10時00分～12時00分、13時00分～15時00分）
4.動画による取組の紹介

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

https://www.maff.go.jp/kinki/press/kikaku/231130_92.html

◆「化学肥料使用量の低減に向けたオンラインセミナー」の開催について

化学肥料については、農林水産省が策定した「みどりの食料システム戦略」や兵庫県の「環境創造型農業」において、持続可能な農業のための使用量低減に向けた取組を推進しているところです。

また、我が国では、化学肥料の原料の多くを海外に依存していることから、国際市況等の影響を強く受けやすいため、堆肥等の国内資源の肥料利用拡大を進めることが、食料安全保障の観点からも重要です。

本セミナーは、土壌分析や堆肥等を利用した化学肥料使用量の低減のためのポイントや地域における取組事例等の紹介を通じて、化学肥料使用量の低減や堆肥等の国内資源を用いた肥料利用拡大に資することを目的に開催します。

- 開催日時：令和6年1月24日（水曜日）13時30分～15時30分
- 開催場所：Webexによるオンライン会議
- 応募締切：令和6年1月17日（水曜日）17時

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/tiiki/hyogo/231129.html>

◆亀岡オーガニック農業スクール第一期生募集！

亀岡市は有機農業推進の一環として、プロになりたい人、半農半Xで家庭菜園を楽しみたい人、まずは知識を身につけたい人など、さまざまな形で「暮らしに農を取り入れたい」人に有機農業を学んでもらう「亀岡オーガニック農業スクール」を開校します。

【募集コース】

働き方や希望のスタイルに合わせた3つのコース（・プロ養成コース・スタディコース・オンラインコース）

※詳細につきましては、以下のHPをご覧ください。申込締切 2024年1月20日（土）

「亀岡オーガニック農業スクールの受講生募集」（外部リンク）

<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/30/56511.html>

3.フォトレポート・きんき食と農デジタルミュージアム

◆近畿農政局管内で頑張る生産者・事業者の方々の紹介、近畿農政局のニュースなどをホームページで写真や動画により紹介しています。

◇滋賀県長浜市

生活協同組合コープしが主催の「帰ってきた！商品大交流会」に参加しました

<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/otsu/photo/20231125.html>

◇京都府精華町

「せいか祭り 2023」に出展しアンケートを行いました！

<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/SEIKA231119.html>

◇大阪府大阪市

大阪府 4H クラブの軽トラ市が開催されました

https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/osaka/2023photo/17_torataichi/yuichi.html

◇大阪府

GI 大阪ワインを応援したい！～金融機関と地域の食を支える団体の連携～

https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/osaka/2023photo/16_kinyukouko/kinyukouko.html

◇兵庫県加古川市

JAPAN BEEF FESTIVAL in KAKOGAWA に出席しました

https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/hyogo/p_repo/2023/20231103.html

◇奈良県宇陀市

「宇陀オーガニックビレッジフェス 2023」が開催されました

https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/nara/photo/photo_2023/report_20231201.html

◇和歌山県那智勝浦町

那智勝浦町で第 28 回全国棚田（千枚田）サミットが開催されました！

<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/wakayama/photo/img/202312tanadasummit/tanadasummit.html>

◇大阪府大阪市

「農業参入フェア 2023 大阪会場」を開催しました

<https://www.maff.go.jp/kinki/photo/kekka/231114.html>

◇京都府

JA 京都における環境に配慮した農産物及び水田野菜等高収益作物の生産・販路（需要）拡大に係る現地検討会を開催しました

<https://www.maff.go.jp/kinki/photo/kekka/231127.html>

◇京都府京都市

米粉関連パネルを展示しました

<https://www.maff.go.jp/kinki/syokuryo/syokaku/231128.html>

◇京都府京都市

「女性農業委員座談会」を開催しました

<https://www.maff.go.jp/kinki/photo/kekka/231204.html>

◇兵庫県神戸市

「我が国の食料・農業・農村をめぐる状況」について講義－出張講座「神戸学院大学」－

<https://www.maff.go.jp/kinki/photo/kekka/231205.html>

4. BUZZMAFF（ばずまふ）

◆近畿の「BUZZMAFF（ばずまふ）」

BUZZMAFFとは、職員自らが農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を発信するプロジェクトです。

1) #食べるぜニッポン #絶品ちくわ作りました。

今回は、ちくわ作り体験に行ってきました。自分で作った焼きたてのちくわはとても美味しかったです！

おでんが食べたい季節になりましたね。国産練り物製品を食べて#食べるぜニッポン しましょう！

【公開 URL】

<https://www.youtube.com/shorts/LtPDMIAIjpM>

2) 兼業農家の NEW STYLE 第3弾！！

今回も、【大阪のてっぺん】大阪府能勢町にて、第2弾でドローン直まきした稲 WCS の収穫イベントに参加し「裁断型ホールクロック収穫機」でスマート農業技術を活用した稲刈り体験をさせていただきました。稲 WCS の刈り取り、細断・混合、ネット梱包、ラップマシーンによるフィルムラッピングされる様子をぜひご覧ください。

【公開 URL】

<https://youtu.be/crzZIA91Mno>

【となりの近畿】

<https://www.maff.go.jp/kinki/photo/kekka/video/b10.html>

5.統計情報

◆作物統計調査 令和5年産麦類（子実用）の作付面積及び収穫量

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y8

◆作物統計調査 令和5年産びわ、おうとう、うめの結果樹面積、収穫量及び出荷量

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu/index.html#y5

◆作物統計調査 令和5年産うめの結果樹面積、収穫量及び出荷量（和歌山）

～和歌山県の収穫量は前年産に比べ5%減少～

令和5年産うめの結果樹面積、収穫量及び出荷量について、以下のとおり和歌山県の結果を取りまとめましたのでお知らせします。

【調査結果】

1. 結果樹面積は4,840haで、前年産に比べ40ha（1%）減少しました。
2. 10a当たり収量は1,260kgで、前年産に比べ60kg（5%）下回りました。
3. 収穫量は6万1,000t、出荷量は5万8,300tで、前年産に比べそれぞれ3,400t（5%）、3,900t（6%）減少しました。なお、収穫量は昭和40年産から59年連続全国1位となっており、都道府県別の収穫量割合は、全国の64%を占めています。

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/yotei/2023.html#y1130>

∞ * 編集後記 * ∞

12月13日は「煤払いの日」です。1年分の煤（すす）やホコリを払って清める「煤払い」を行う日本の記念日として、古くから知られています。また、煤払いに加え、雑煮を炊いたり門松に使ったりする木を山に取りに行く「松迎え」も習慣のひとつで、現代では、正月を迎える準備が始まることから「大掃除の日」ともいわれています。我が家では、日々の掃除は「お掃除ロボット」が毎日床を綺麗にしてくれています。12月13日には、いつも頑張ってくれているロボットの掃除から始めたいと思います。

■ □ ■

☆ 配信停止、メールアドレス等変更には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

パスワードをお忘れの場合はパスワードの再発行をお願いします。

☆ 配信中止・配信メールアドレスの変更・バックナンバーの閲覧は、

⇒ <https://www.maff.go.jp/kinki/pr/mmg/index.html>

編集・発行：近畿農政局 企画調整室

〒602-8054 京都府京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町

電話：075-414-9037（直通）

■ □ ■ □ ■